

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	福岡市人権教育・啓発基本計画		
所管課	市民局人権部人権推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成16年度		平成16年度に策定した「福岡市人権教育・啓発基本計画」に基づく取組みを実効性あるものとするため、4年毎に実施計画を策定するとともに、実施計画に基づき実施した事業について、総括的な点検・検証を行う。
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画		

基本計画				
施策コード	主	1-2-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進			
事業群	人権尊重のまちづくり			一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」に位置づけられた事業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」に位置づけられた事業をより効果的、実効性のあるものにする。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○「福岡市人権教育・啓発基本計画」の「実施計画」に基づき平成27年度に実施した人権教育・啓発事業について、その成果や課題等を事業所管課が自己評価。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		475
歳入	特定財源	
	一般財源	475
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計	92	92
歳入	特定財源	
	一般財源	92 92

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・4年毎に実施計画を策定する。 ・実施計画に基づき実施した各事業の成果と課題について、所管課が自己評価。 ・評価結果をとりまとめ、外部委員から意見を聴取し、総括的な点検・検証を行う。 ・最終的な点検・検証結果を公表・フィードバックする。 	<p>点検・検証結果を、所管課において次年度以降の取組みに反映させる。</p>	<p>「福岡市人権教育・啓発基本計画 実施計画」に基づく人権教育・啓発の事業がより効果的、実効性のあるものとなる。</p>	<p>一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が増える。</p>	
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)
			年度	年度	年度
			H27年度	H28年度	H29年度
	実施事業評価の結果、一定の成果が得られたとした事業の割合	100	100	100	H 年度
		97.9	97.5	70	H34年度
		達成率	97.9%	97.5%	80
		70	70	70	H 年度
		65.2	67.2	65.2	H 年度
		達成率	93.1%	96%	達成率
		93.1%	96%	93.1%	達成率

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分		重点
事業名	北朝鮮人権侵害問題啓発週間行事	
所管課	市民局人権部人権推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成18年度に関係法律が施行され、地方公共団体の責務として、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民世論の啓発に努めるものとされた。
開始年度	平成18年度	
根拠法令	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律	
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画	

基本計画		
施策コード	主 再	1-2-1
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進	
事業群	人権尊重のまちづくり	

施策成果指標
 一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題について、市民の関心と認識を深める。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○拉致問題啓発舞台劇公演「めぐみへの誓いー奪還ー」を開催(主催:内閣官房拉致問題対策本部、福岡市、後援:文部科学省) ○本庁舎1階多目的スペースにて、拉致問題の実態や拉致被害者の写真などを展示したパネル展を開催(主催:福岡市、協力:内閣官房拉致問題対策本部、福岡県、北朝鮮に拉致された日本人を救出する福岡の会) ○本庁舎東側に横断幕を掲示 ○職員にブルーリボン及び啓発週間名札の着用を奨励 ○市政だより・ホームページ等に啓発記事を掲載 ○情報プラザ・区役所等に啓発ポスターを掲示
----------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		121
歳入	特定財源	88
	一般財源	33
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27
	H29	H29
歳出合計	910	874
歳入	特定財源	435
	一般財源	475
	303	571

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」にあわせ、講演会等の各種啓発活動を実施する。	講演会等に市民が参加する。	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題について、市民の関心と認識が深まる。	拉致問題解決に向けた世論が高まり、国民世論の強い後押しにより、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題が解決する。
	活動の指標	成果の指標(KPI)		

指標の内容	年度	実績		目標	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
講演会等への参加者数	目標	700	650	650	H年度
	実績	250	450		
	達成率	35.7%	69.2%		
	目標				H年度
	実績				
	達成率				

指標の内容	年度	実績		目標	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
拉致問題への理解・関心が深まった市民の割合(%)	目標	100	100	100	H年度
	実績	96	93.8		
	達成率	96%	93.8%		
	目標				H年度
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	人権尊重の視点に立った行政の全庁的な推進	
所管課	市民局人権部人権推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市職員に対し、これまで様々な人権研修を実施し、人権の重要性に関する理解は職員に根付いてきているが、人権は「特定の部署のみに関係するもの」と捉えられがちであり、人権に対する理解を各自の具体的な職務の中に活かすことについては十分ではない面がある。
開始年度	平成21年度	
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-2-1	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進			
事業群	人権尊重のまちづくり		施策成果指標	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市職員
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・常に市民の人権を意識して業務に取り組むことを職員の共通理念とする。 ・全庁をあげて人権尊重の視点に立った行政を推進する。 ・行政運営の方向性と人権尊重の視点を持って自らの業務を進める。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員に「人権尊重の視点に立った行政の推進に関する指針」(冊子)を配布。 ○課長級職員を対象とした「人権行政課長研修」、係長級職員を対象とした「人権行政係長研修」、全職員を対象とした「人権に関する職場研修」、新規採用職員研修等、様々な職員研修の場を利用して「人権尊重の視点に立った行政の推進に関する指針」の周知と理解の徹底を図った。
	<p>平成28年4月 新規採用職員研修</p> <p>7月 人権行政係長研修, 人権行政課長研修</p> <p>11~12月 「人権」に関する職場研修</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○「性的マイノリティに関する庁内関係課連絡会議」の開催 平成29年2月 ○職員向け出前研修の実施 平成29年1月, 2月

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	100		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	100	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	100	200	
歳入	特定財源		
	一般財源	100	200

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<p>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</p> <p>各職場研修や新規採用職員研修、全職員を対象とした「人権に関する職場研修」を利用して、「人権尊重の視点に立った行政の推進に関する指針」の周知と理解の徹底を図る。</p>	<p>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</p> <p>全職員の研修への参加により、人権尊重の視点に立った行政の推進に係る指針の理解の深化。</p>	<p>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の特定職業従事者としての意識が高まる。(市職員の意識改革) ・職員一人ひとりが、常に市民の人権を意識して業務に取り組むことを職員共通の理念とし、全庁をあげて人権尊重の視点に立った行政を推進する。 	<p>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が高まる。</p>																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「人権」に関する職場研修実施状況</td> <td>目標</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td rowspan="3">100%</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	「人権」に関する職場研修実施状況	目標	100%	100%	100%	H 年度	実績	100%	100%		達成率	100%	100%		活動の指標	目標				H 年度	実績					達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)</td> <td>目標</td> <td>70</td> <td>70</td> <td rowspan="3">70%</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>65.2</td> <td>67.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>93.1%</td> <td>96.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)	目標	70	70	70%	H34年度	実績	65.2	67.2		達成率	93.1%	96.0%		成果の指標(KPI)	目標				H 年度	実績					達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																												
「人権」に関する職場研修実施状況	目標	100%	100%	100%	H 年度																																																																													
	実績	100%	100%																																																																															
	達成率	100%	100%																																																																															
活動の指標	目標				H 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	
指標の内容	年度	実績		目標																																																																														
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																													
一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)	目標	70	70	70%	H34年度																																																																													
	実績	65.2	67.2																																																																															
	達成率	93.1%	96.0%																																																																															
成果の指標(KPI)	目標				H 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	人権啓発フェスティバル	
所管課	市民局人権部 人権啓発センター	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成6年に国連総会において、「人権教育のための国連10年」が決議され、平成11年に本市においても「人権教育のための国連10年福岡市行動計画」を策定し、市民ひとり一人の人権が真に尊重される福岡市の実現を目指している。
開始年度	平成10年度	
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	
行政計画	福岡市人権教育・啓発基本計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-2-1	〇一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合(平成34年度:80%)	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進			
事業群	人権尊重のまちづくり			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	人権啓発フェスティバル「ハートフルフェスタ福岡」は、「福岡市人権教育・啓発基本計画」の趣旨に基づき、市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日常的な人権感覚が身につけられるよう、また、地域や関係機関・団体の交流・連携を図り相互理解が深められるよう開催する。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	ハートフルフェスタ福岡2016を開催(一部委託)
	①市民団体による活動紹介、フリーマーケット、ステージイベントなど
	②障がい者施設等による菓子や手芸品の販売など
	③熊本地震の被災地に元気を届けるための工夫(熊本県出身のゲスト、観光案内・特産品販売など)
	④体験企画、福祉体験(アイマスク、車いす体験等)
	⑤講演会の開催 ⑥その他 約19,000人が参加

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	7,999		
歳入 特定財源	3,786		
歳入 一般財源	4,213		
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	8,235	8,000	
歳入 特定財源	4,491	5,379	
歳入 一般財源	3,744	2,621	

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発フェスティバルを開催する。 人権啓発フェスティバルの周知を図る。(ポスター・チラシ配布、ホームページ、市政だより、情報誌等) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が人権啓発フェスティバルに参加する。 市民グループや団体がフェスティバルに出展する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が楽しく自然な形で『人権』に接し、知識や理解を深めることができる。 出展した市民グループや団体の活動を発表する場となり、また、団体間の連携が推進される。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合が増加する。 		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
	来場者数	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	20,000	22,000	20,000	H32年度
		実績	22,000	19,000		23,000
	達成率	110.0%	86.4%			
	参加団体数	目標	75	75	75	H32年度
		実績	70	68		75
達成率		93.3%	90.7%			
	来場者アンケート 理解や関心が「大変深まった」「深まった」の合計	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	90	90	90	H 年度
		実績	91	86		
	達成率	101.1%	95.6%			
	参加団体アンケート「満足している」「どちらかという満足している」の合計	目標	90	90	90	H 年度
		実績	92	94		
達成率		102.2%	104.4%			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	福岡マラソン開催	
所管課	市民局スポーツ推進部スポーツ事業課	背景
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		市民から10万人を超える署名による開催要望があったため。
市民から10万人を超える署名による開催要望があったため。		

基本計画			
施策コード	主	1-5-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	スポーツ・レクリエーションの振興		
事業群	スポーツ・レクリエーション活動の促進		
施策成果指標	○身近なスポーツ環境に対する満足度 (H28:65%) ○スポーツ活動をする市民の割合 (H28:55%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	スポーツに興味・関心のある市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	スポーツを「する」「見る」「支える」人口を増加させる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○福岡マラソン2016の開催準備 ・協賛金の確保 ・参加ランナーの募集(申込者総数:39,304人) ・ボランティアの募集(延べ3,860人) ・マラソンコース沿道の地域住民及び事業者への合意形成(交通規制の周知及び応援の依頼)

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	100,990		
歳入	特定財源	9,141	
	一般財源	91,849	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	100,458	100,745	
歳入	特定財源	9,002	9,003
	一般財源	91,456	91,742

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 福岡マラソンの開催準備・開催運営を行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・市民が福岡マラソンにランナーやボランティアとして参加する。 ・マラソンコース沿道で多数の地域住民が応援する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 身近な場所でスポーツに親しむことができ、市民スポーツの振興を推進する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・身近なスポーツ環境に対する満足度が増加 ・スポーツ活動をする市民の割合の増加																																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡・糸島市民枠の申込者数(地元先行申込)</td> <td>目標</td> <td>12,200</td> <td>12,200</td> <td rowspan="3">12,700</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>10,600</td> <td>12,348</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>86.9%</td> <td>101.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	福岡・糸島市民枠の申込者数(地元先行申込)	目標	12,200	12,200	12,700	H年度	実績	10,600	12,348		達成率	86.9%	101.2%			目標				H年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">身近なスポーツ環境に対する満足度</td> <td>目標</td> <td>65</td> <td>65</td> <td rowspan="3"></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>57</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>87.7%</td> <td></td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">スポーツ活動をする市民の割合</td> <td>目標</td> <td>55</td> <td>55</td> <td rowspan="3"></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>53.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>96.5%</td> <td></td> <td></td> <td>60</td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	身近なスポーツ環境に対する満足度	目標	65	65		H34年度	実績	57			達成率	87.7%			70	スポーツ活動をする市民の割合	目標	55	55		H34年度	実績	53.1			達成率	96.5%		
指標の内容	実績		目標																																																																																
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																														
福岡・糸島市民枠の申込者数(地元先行申込)	目標	12,200	12,200	12,700	H年度																																																																														
	実績	10,600	12,348																																																																																
	達成率	86.9%	101.2%																																																																																
	目標				H年度																																																																														
	実績																																																																																		
	達成率																																																																																		
指標の内容	実績		目標																																																																																
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																														
身近なスポーツ環境に対する満足度	目標	65	65		H34年度																																																																														
	実績	57																																																																																	
	達成率	87.7%				70																																																																													
スポーツ活動をする市民の割合	目標	55	55		H34年度																																																																														
	実績	53.1																																																																																	
	達成率	96.5%				60																																																																													

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	共創自治協議会事業（H27年度までは活力あるまちづくり支援事業）	
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 自治協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、市民と行政との共働によるまちづくりを推進するため
開始年度	平成16年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	2-1-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの基盤強化		

施策成果指標	地域活動への参加率（地域活動に参加したことがある市民の割合） （H28年度：54.5%、H34年度：70%）
---------------	---

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	自治協議会
	対象をどのような状態にしたいのか	自治協議会と福岡市がパートナーとして、様々な主体を巻き込みながら、よりよい地域づくりに取組んでいる。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象団体 自治協議会149団体(平成28年度交付申請額:508,026千円) (1団体は、旧制度により補助) ○補助対象事業 (1)まちづくり基本事業 <ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心に関する事業(交通安全, 防災, 防犯) ②子どもに関する事業(子どもの健全育成・非行防止) ③環境に関する事業(環境美化, ごみ減量・リサイクル推進) ④健康に関する事業(健康づくり, 集団献血) ⑤スポーツに関する事業 ⑥男女共同参画に関する事業 (2)地域自らが発意・企画し、自主的に取り組むまちづくり活動

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	518,122		
歳入	特定財源	10	
	一般財源	518,112	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	480,753		522,875
	特定財源	8	5
歳入	一般財源	480,745	522,870

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・自治協議会が行う住みよいまちをつくるため必要な事業に対して、補助金による助成を行う。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・地域コミュニティにおいて、自律的な経営が行われ、「共創」の地域づくりが行われる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・地域住民の自治意識が向上し、自治組織の運営基盤強化・活性化が図られる。 ・企業や商店街、NPOなど様々な主体と協力することで「共創」の地域づくりが広がる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。 </div>																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td>149 校区</td> <td>149 校区</td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>149 校区</td> <td>149 校区</td> <td>150校区</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	活動の指標	目標	149 校区	149 校区		H 年度	実績	149 校区	149 校区	150校区		達成率	100%	100%				目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>52.9%</td> <td>54.5%</td> <td></td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	成果の指標(KPI)	目標	-	-		H34年度	実績	52.9%	54.5%		70%	達成率	-	-				目標				H 年度		実績						達成率			
指標の内容	実績		目標																																																																																						
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																				
活動の指標	目標	149 校区	149 校区		H 年度																																																																																				
	実績	149 校区	149 校区	150校区																																																																																					
	達成率	100%	100%																																																																																						
	目標				H 年度																																																																																				
	実績																																																																																								
	達成率																																																																																								
指標の内容	実績		目標																																																																																						
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																				
成果の指標(KPI)	目標	-	-		H34年度																																																																																				
	実績	52.9%	54.5%		70%																																																																																				
	達成率	-	-																																																																																						
	目標				H 年度																																																																																				
	実績																																																																																								
	達成率																																																																																								

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	コミュニティ活動市民参加促進事業		
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成21年度		自治組織の活性化・組織強化に向け、自治に関する市民啓発とコミュニティの魅力向上に向けた取り組みをコミュニティと協働で推進することにより、より多くのコミュニティ活動への参加を促し、地域活動の活性化を図る。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	2-1-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの基盤強化		
施策成果指標	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合) (H28年度:54.5%, H34年度:70%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	①地域活動に参加したことがない住民 ②自治協議会、企業や商店街など様々な主体
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	①各校区で行われている地域活動に、より多くの地域住民だけでなく、企業や商店街など様々な主体が参加している。 ②他の地域の事例を参考にして、地域活動のより一層の活性化に取り組んでいる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	(1)自治会・町内会加入促進等支援 ア 転入者や自治会未加入者向けのチラシの配布を実施。 イ コミュニティと各区役所による研修会などの開催 (2)福岡市コミュニティ通信の作成 活動実践報告などを紹介したコミュニティ及び市民向け情報を2回(10月、4月)作成。 (3)共創自治協議会サミットの開催 各校区の事例発表や地域を応援している団体の事例発表を行い、情報共有の場とすることで、今後の地域活動や組織運営のアイデアを得る機会とするとともに、自治協議会等会長を退任された方や企業等の中で特に地域に貢献する活動を行っている団体等へ感謝状を贈呈。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		3,785
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,785
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計	5,142	3,158
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	5,142 3,158

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・コミュニティ通信を発行する。 ・共創自治協議会サミットを開催する。	・地域住民や企業等がコミュニティ通信を見て、地域活動について知る。 ・地域住民や企業等が自治協議会サミットに参加し、地域活動や組織運営へのスキルアップにつながる。	・地域住民はもちろん、企業や商店街など様々な主体が地域活動に関心を持つことで、地域活動の参加者が増加する。	・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	活動の指標	年度	H27年度 H28年度 H29年度 最終年度	年度	H27年度 H28年度 H29年度 最終年度
福岡市コミュニティ通信閲覧数(1号平均)	目標	500	700	目標	H34年度
	実績	520		実績	70
	達成率	104%		達成率	70
共創自治協議会サミットの参加者数	目標	800 650	800	目標	H34年度
	実績	600 700		実績	H年度
	達成率	75.0% 107.7%	800	達成率	

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	小学生向け自治会活動PR事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
コミュニティへの帰属性の希薄化、地域活動の担い手不足、自治会等への加入率の低下等が課題となっており、子どもの頃から自治会・町内会活動の重要性への理解促進を図る。		

基本計画			
施策コード	主	2-1-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの基盤強化		
施策成果指標	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合) (H28年度:54.5%, H34年度:70%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市内の小学3年生およびその保護者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	子どもの頃から自治会等活動の重要性への理解が図られ、その保護者にも理解促進が図られている。

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・子どもの頃から自治会・町内会活動の重要性への理解が図られるよう、授業や各家庭で活用できる小学生向けパンフレットを作成した。
	・平成29年度新3年生に配布予定としている。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		625	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	625	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		734	0
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	734	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)
	・小学生向けの自治会等活動を紹介したパンフレットを作成する。	・学校などで、パンフレットが活用される。	小学3年生及びその保護者に自治会等地域活動の重要性の理解が図られる。	・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。
	▶	▶	▶	▶

活動の指標	指標の内容	実績				目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	H 年度
活動の指標	パンフレットを発行・配布した学校数	目標	150	150	151	-	H 年度
		実績	150	150			
		達成率	100%	100%			
		目標					H 年度
活動の指標	授業での活用学校数	目標			80	-	H 年度
		実績	64	59			
		達成率		73.8%			
		目標					H 年度

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域デビュー応援事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か 住民の自治意識や地域コミュニティへの帰属意識が希薄化し、地域コミュニティの維持が困難な状況となることが懸念されることから、自治会・町内会が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できるような取組みを支援する。		

基本計画			
施策コード	主	2-1-2	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化		
事業群	地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用		
施策成果指標	地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合)		
	(H28年度: 54.5%, H34年度: 70%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・自治会・町内会 ・自治会等の活動に参加したことのない市民
	対象をどのような状態にしたいのか 自治会・町内会の会員に限らず、町内の幅広い世代の住民が気軽に楽しく自治会・町内会行事に参加する。
事業目的	

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・各区地域支援課を通じて、地域デビュー応援事業の実施事業について、募集を行った。 ・H28.12月末現在で、177件(1年目64件、2年目39件、3年目84件)の申請があった。 ・特色がある事業等を紹介するチラシを作成し、次年度の取組みの参考となるように、各地域に配布した。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	42,991
歳入	特定財源	1,816
	一般財源	41,175
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	31,239 30,920
歳入	特定財源	1,639 1,821
	一般財源	29,600 29,099

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・自治会・町内会単位が行う、幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加し、交流できる事業(新規事業・リニューアル事業)について、補助金による助成を行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・自治会・町内会の会員に限らず、幅広い世代の住民が事業に参加し、住民相互の交流が行われる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・地域住民の自治意識が向上し、自治組織の運営基盤強化・活性化が図られることにより地域活動への参加者が増加する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。
	活動の指標	成果の指標(KPI)		
	指標の内容	指標の内容		
		実績	目標	
	年度	H27年度 H28年度	H29年度 最終年度	
新規事業申請件数	目標	200	500	H 年度
	実績	179	109	200
	達成率	89.5%	21.8%	
リニューアル事業申請件数	目標	200	500	H 年度
	実績	105	68	100
	達成率	52.5%	13.6%	
		実績	目標	
	年度	H27年度 H28年度	H29年度 最終年度	
地域活動への参加者の増加	目標	-	-	H34年度
	実績	52.9%	54.5%	-
	達成率			70%
地域活動にデビューした人	目標	行事参加者の1割	行事参加者の1割	H 年度
	実績	行事参加者の2.3割	行事参加者の2.2割	行事参加者の1割
	達成率			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	「地域デザインの学校」プロジェクト		
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成26年度		平成25年度共働事業提案制度で採択された事業
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	2-1-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている			
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化			
事業群	地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	地域住民(自治協議会、自治会・町内会)
	対象をどのような状態にしたいのか	地域コミュニティに関心がある人材を発掘し、活動のノウハウを学ぶための講座などを通じて、実際の地域活動への参加・企画などへつなげていく。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> 「地域活動の担い手」を養成することを目的に、地域活動にすでに従事している人々や地域活動への意欲や関心を持つ人々が、同じ問題意識を共有し、お互いに結びつきながら、活動のノウハウを学ぶための場づくりをNPOと共働で取り組む。(平成25年度福岡市共働事業提案制度採択事業として実施) 共働事業の最終年度である平成28年度は、3校区(西区西都地区、東区照葉校区、早良区有住校区)を対象に実施した。 各校区・地区において、自治協議会など既存の活動にとらわれないユニークな特色のある活動が企画されている。
----------	--------------------------------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,000
歳入	特定財源	0
	一般財源	4,000
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	3,038 0
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	3,038 0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・自分の住む地域コミュニティに関心のある住民の方を集めて、地域活動を実現するための講座をNPOと共働で開催する。	・地域活動に参加する新たな人材発掘ができる。 ・新たな地域活動が生まれる。	・地域住民の自治意識が向上し、自治組織の運営基盤強化・活性化が図られることにより地域活動への参加者が増加する。	・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。		
	指標の内容	実績	目標	実績		
	活動の指標	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	2校区	2校区	-	H年度
実績		2校区	3校区	-	-	
達成率		100%	150%	-	-	
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
目標	2校区	2校区	-	H年度		
実績	2校区	3校区	-	-		
達成率	100%	150%	-	-		
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
目標	-	6活動	-	H年度		
実績	6活動	8活動	-	-		
達成率	-	133.3%	-	-		

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	校区ビジョン策定支援事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 住んでいる地域の現状と将来像を校区住民が共有し、地域の目標や特性を活かした地域づくりの推進を図る。
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画		
施策コード	主 再	2-1-2
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている	
施策	支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化	
事業群	地域コミュニティの活性化、地域人材の発掘・活用	

地域活動への参加率(地域活動に参加したことがある市民の割合) (H28年度:54.5%, H34年度:70%)
--

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 校区・地区住民・企業や商店街など
	対象をどのような状態にしたいのか ・地域の目標や課題などを主体的に語り合うことで、住んでいる地域への愛着や誇りの醸成などを通して、地域魅力や絆づくり、担い手が発掘・育成が図られる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか (1)校区ビジョン等を策定するためのワークショップの開催等 校区のまちづくりの目標像等を策定するための校区住民を中心としたワークショップの開催、地域への支援等(2校区:博多区美野島地区、中央区高宮校区) (2)地域づくりアドバイザー派遣 市内の自治会・町内会、自治協議会が行う研修等に専門家等の派遣が必要な場合にアドバイザーの派遣を行う。 28回派遣(参加者約2,500人)※H28n12末現在
----------	---

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	4,810		
歳入	特定財源		
	一般財源	4,810	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出	歳出合計	0	0
	特定財源		
歳入	一般財源	0	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																
	・校区ビジョンの策定の支援 ・地域づくりアドバイザーの派遣	・市内の自治協議会や自治会・町内会を中心に、校区のまちづくりの目標像等の策定や課題解決に向けたワークショップなどが開催される。	・地域の目標や特性を活かした地域づくりの推進が図られることで、住民同士のつながりが深まり、地域活動への参加者が増加する。	・皆が住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができる。																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">校区ビジョン策定校区数</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アドバイザーの派遣回数</td> <td>目標</td> <td>15</td> <td>20</td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>40</td> <td>28</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>266.7%</td> <td>140.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	校区ビジョン策定校区数	目標				H 年度	実績	4	2			達成率					アドバイザーの派遣回数	目標	15	20		H 年度	実績	40	28			達成率	266.7%	140.0%			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">地域活動への参加者の増加</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>52.9</td> <td>54.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	地域活動への参加者の増加	目標				H34年度	実績	52.9	54.5			達成率				70	目標				H 年度	実績					達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																														
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
校区ビジョン策定校区数	目標				H 年度																																																																															
	実績	4	2																																																																																	
	達成率																																																																																			
アドバイザーの派遣回数	目標	15	20		H 年度																																																																															
	実績	40	28																																																																																	
	達成率	266.7%	140.0%																																																																																	
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
地域活動への参加者の増加	目標				H34年度																																																																															
	実績	52.9	54.5																																																																																	
	達成率				70																																																																															
	目標				H 年度																																																																															
実績																																																																																				
達成率																																																																																				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	学生がデザインする公民館事業		
所管課	市民局コミュニティ推進部公民館支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		地域の一員である学生に地域での交流を促すとともに公民館の「つなぐ」機能の強化を図る。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	2-2-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	公民館などを活用した活動の場づくり		
事業群	公民館の機能強化		
施策成果指標	公民館の利用率(年に1回以上公民館を利用した市民の割合)35%(平成28年度)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	学生
	対象をどのような状態にしたいのか	学生が公民館と連携して事業を実施することで、地域との交流が図られ、学生などの若者が公民館を活用し、地域活動に気軽に参加する。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	平成28年度は、学生と公民館の連携事業を実施するにあたり、NPO法人に以下について委託した。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生への働きかけから、実際の公民館での事業実施の指導・助言 ・内容についての発表支援 ・学生等の連携するためのプロセスをまとめたハンドブックの作成 その結果、9公民館で学生と連携した事業が実施され、2月の全公民館職員が参加する公民館フォーラムで発表を行った。 ・3月にハンドブックが完成予定で、29年度以降はこのハンドブックを活用し、公民館が学生を始めとする様々な他団体と連携した取り組みを実施していく予定。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,396
歳入	特定財源	
	一般財源	4,396
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	1,144
歳入	特定財源	
	一般財源	0 1,144

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	公民館が学生と地域に向けた講座を企画・実施する。	学生と地域住民との交流が図られ、学生にとっても学びが得られるとともに、若者の地域活動の参加により地域コミュニティが活性化する。	公民館とともに地域の実情に応じた講座を企画・実施することにより、学生と地域コミュニティの交流が図られ、学生が地域に関心を持ち、気軽に地域活動に参加していく。	若年層の公民館利用率の増加につながる。		
活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	事業の実施館数	目標		10		H29年度
		実績		9	10	
		達成率		90%	-	
		目標				H年度
	実績					
	達成率					
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	事業への学生の参加者数	目標				H29年度
		実績		141	150	
		達成率				-
		目標				H年度
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	地域の担い手パワーアップ事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部公民館支援課	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
前年度まで行っていた5つの投資事業を統合し、各区がメニューを選択するカフェテリア方式の事業とし、地域の実情に応じた事業とした。		

基本計画			
施策コード	主	2-2-1	
	再		
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	公民館などを活用した活動の場づくり		
事業群	公民館の機能強化		
施策成果指標	公民館の利用率(年に1回以上公民館を利用した市民の割合)35%(平成28年度)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	全市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	市民が地域活動の担い手となり、地域活動の場として公民館の利用が増え、地域コミュニティが活性化する。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	平成27年度まで実施していた各投資事業を全区で実施するという方法を改め、以下の5つのプログラムにリニューアルし、実施した。
	【必須】 公民館の地域力応援プログラム
	【選択】 (1)地域の担い手スタートプログラム (2)地域の担い手ネクストプログラム (3)ICT担い手づくりプログラム (4)きっかけづくりプログラム

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		9,169	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	9,169	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		-	10,604
歳入	特定財源	-	
	一般財源	-	10,604

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)						
	・公民館職員自身がコミュニティ支援能力を高めるため、地域力応援講座プログラムにより能力向上を図る。 ・それぞれの地域の実情に応じた事業を検討し、メニューを選択し、実施計画を立てる。		・公民館職員の能力が向上し、コミュニティ活動に効果的な支援が可能になる。 ・公民館に住民が集まるきっかけとなる事業の実施によって、公民館で地域住民の交流が図られる。 ・ワークショップなどで住民が地域課題などの知識を得る。				・地域住民の交流が図られ、地域活動に気軽に参加できるようになる。 ・地域課題が認識・共有され、解決のための具体的な活動を行う。				・地域活動が活発化し、公民館利用率が向上する。						
	活動の指標	指標の内容	年度	実績		目標		年度	実績		目標		年度	実績		目標	
			H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	H27年度		H28年度	H29年度	最終年度	H27年度		H28年度	H29年度	最終年度	
		事業実施館数	目標	-	60	120	180	目標	-	35.0%	35%	50%	目標	-	35.0%	H34年度	
実績		-	64	実績	24.2%			28.2%	達成率	-			80.6%				
達成率	-	106.7%	目標	-	H年度	目標	-		実績	-		達成率	-				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	NPOと行政による共働事業, NPOとの共働促進啓発事業	
所管課	市民局コミュニティ推進部 市民公益活動推進課	背景
開始年度	平成20年度, 平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 地域課題が複雑化・多様化し、行政だけでは解決が困難となる中、地域社会における公共の担い手としてNPO等の活動が活発化。双方の相乗効果を生み出し社会課題の解決を目指す仕組みとして「共働事業提案制度」を創設。	

基本計画			
施策コード	主 再	2-4-2	施策成果指標
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている		
施策	NPO、ボランティア活動の活性化		
事業群	共働の推進		
	○共働事業提案制度採択数（年4事業採択） ○NPO・ボランティア活動などへの参加率（過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合）（H28年度:20%, H34年度:24%）		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか NPO等, 市職員, 共働事業に共感する市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 地域課題の解決や市民サービスの向上等に向け, NPO等と行政が主体的に共働に取り組む状態。

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか (1) 共働事業提案制度の実施 ○NPO等からの事業提案を公開プレゼンテーションを経て採択(6事業) ○前年度の事業成果等を報告する「事業報告会」(1事業)や、翌年度も事業継続を希望する事業の「中間評価」(3事業)を実施。 (2) 市職員及びNPOを対象とした共働啓発研修の実施。 (3) 多様な主体との出会いの場「共働カフェ」の実施
-----------------	---

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	
歳入	特定財源	
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	1,895 1,156
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	1,895 1,156

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	○NPO等の事業提案に対し, サポートを行う。 ○事業提案の早い段階からNPO等と市担当課が協議する場を設ける。 ○公開プレゼンテーションや共働カフェ, 市職員・NPO向け啓発研修等を実施する。	○NPO等から課題解決に効果的な共働事業が提案される。 ○NPO等と行政との協議により, 実現可能な共働事業の提案に繋がり, 共働事業提案制度の採択件数が増える。 ○市民やNPO等, 市職員が, 公開プレゼンテーションや共働カフェ等, 啓発研修等に参加する。	○NPOの認知度向上とともに, 行政との共働で事業を実施することで, 組織基盤が強化される。 ○共働の経験により, 市職員に共働の手法と課題解決のノウハウが蓄積される。 ○市民や市職員, NPO等が, 啓発研修やNPO等との対話を通して 共働への理解を深める。	○NPOの組織基盤が向上する。(自立したNPOが増える) ○市職員と様々な主体とが共働する機会が増え, 業務の見直しに繋がる。 ○地域課題が解決し, 市民サービスが向上する。 ○市民公益活動に関わる市民の数が増える。		
	活動の指標	実績	目標	実績	目標	
	指標の内容	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	共働事業提案制度採択件数	目標	4	4	4	H年度
	実績	2	6			
	達成率	50%	150%			
啓発研修, 共働カフェ実施回数	目標	4	4	4	H年度	
	実績	2	3			
	達成率	50%	75%			

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	NPOと共働したことがある市職員の割合	目標		42.0%		H年度
		実績		32.6%		
		達成率		77.6%		
	NPO・ボランティア活動などへの参加率	目標		20.0%	21%	H34年度
実績			16.6%	24%		
達成率			83.0%			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	避難支援対策の充実・強化(避難所機能の強化)	
所管課	市民局防災・危機管理課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 国際化に伴う海外からの観光客が増加しており、この国際化に伴う外国人への情報提供機能の充実・強化を推進し、ユニバーサル都市・福岡の実現に向け、事業開始。
開始年度	平成24年度	
根拠法令		
行政計画		

基本計画			
施策コード	主	3-1-1	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	災害に強いまちづくり		
事業群	防災・危機管理体制の強化		
施策成果指標	地域の防災対策への評価 H28年度 35% H34年度 50%		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・外国人観光客 ・市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	避難場所となる全ての施設に標識を設置し、平常時における避難場所の確認や、災害時において速やかに避難することができるようになる。また、外国人も避難できるようになる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	経年劣化により標識の建替えや板面の書換えが必要な標識を4カ国語表記で整備した。併せて海抜表示を併記。(設置7カ所、建替え・書換え105カ所)

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		3,908	
歳入	特定財源		
	一般財源		3,908
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	2,268	2,268
	特定財源		2
	一般財源	2,268	2,266

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 避難所標識を日英中韓の4カ国語表記に整備するとともに、老朽化や文字等が消えている標識の建替え・書換えを行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) 外国人観光客にも避難所が分かるようになる。また、一般の市民に対しても日頃から避難所を周知することができるようになる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 一般市民・外国人が迅速に避難ができるようになる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 人的被害の減少																																																																																				
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">避難場所標識の多言語化及び海抜表示</td> <td>目標</td> <td>60</td> <td>60</td> <td rowspan="3">60</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>59</td> <td>112</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.3%</td> <td>186.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	避難場所標識の多言語化及び海抜表示	目標	60	60	60	H32年度	実績	59	112	0	達成率	98.3%	186.7%			目標				H年度		実績						達成率					<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度		目標				H年度	実績					達成率						目標				H年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																																	
		H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																																		
避難場所標識の多言語化及び海抜表示	目標	60	60	60	H32年度																																																																																			
	実績	59	112		0																																																																																			
	達成率	98.3%	186.7%																																																																																					
	目標				H年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																				
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																			
	目標				H年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							
	目標				H年度																																																																																			
	実績																																																																																							
	達成率																																																																																							

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	避難支援対策の充実・強化(土砂災害対策)	
所管課	市民局防災・危機管理課	背景
開始年度	平成25年度	
根拠法令	土砂災害防止法	
行政計画		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か 土砂災害防止法の制定(H13)により、市は指定区域について警戒避難体制の整備等を行うこととされた。また、H17年には、ハザードマップの配布等が義務化された。さらにH25年には、県により、福岡市域の土砂災害警戒区域等が指定され、対策を充実することになった。		

基本計画			
施策コード	主	3-1-1	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	災害に強いまちづくり		
事業群	防災・危機管理体制の強化		
施策成果指標		地域の防災対策への評価 H28年度 35% H34年度 50%	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地域住民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	土砂災害に関する知識と防災意識を向上させ、土砂災害のおそれが高まった時に早めの避難が実施されるようになる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・各区において、土砂災害に関する地域でのフィールドワーク等を実施した。 ・土砂災害に関する研修会を実施した。 ・土砂災害警戒区域内にある要配慮者施設、学校を抽出し、災害時の緊急情報をIFAXにて提供できるよう整備した。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	1,067
歳入	特定財源	0
	一般財源	1,067
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	3,544 402
歳入	特定財源	1,637 0
	一般財源	1,907 402

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域等を、ハザードマップの作成・配布や広報等により住民に周知し、また、円滑な避難が行われるように警戒避難体制及び情報伝達体制の整備を行う。 ・土砂災害に関する研修会の実施 ・土砂災害警戒区域内にある要配慮者施設、学校を地域防災計画に掲載し、災害時の緊急情報をIFAXにより伝達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害への対応方法を知る。 ・行政は災害発生時に速やかに支援できるようにになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害に対する知識と防災意識が向上するとともに、関心が高まり、自宅近辺の危険箇所の把握をするようになる。 ・土砂災害のおそれが高まったときに、円滑な避難が行われるようになる。 	災害発生時の人的被害が最小限に抑えられる。		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標		
			H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		フィールドワークの実施回数	5	5	5	H 年度
	数	11	7	5	5	
	達成率	220%	140%			
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域防災力の向上（一部：自主防災活動の活性化）	
所管課	市民局防災・危機管理課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成7年の阪神・淡路大震災において、地域における防災活動が、大きな効果をあげ、共助の重要性が再認識され、災害対策基本法に、「自主防災組織」の育成が行政の責務とされたことを契機に、自主防災組織の設立を推進し、育成を強化する取り組みを始めた。
開始年度	平成8年度、平成15年度	
根拠法令	災害対策基本法	
行政計画		

基本計画			
施策コード	主	3-1-2	施策成果指標 地域の防災対策への評価 H28年度 35% H34年度 50% 自主防災活動への参加率 H28年度 15% H34年度 25%
	再		
分野別目標		安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
施策		災害に強いまちづくり	
事業群		地域防災力の強化	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地域住民 自主防災組織
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	自主防災組織の結成により地域の防災力を高める基盤が整備される。また、災害に備えた訓練や研修等を通じて組織活動の充実が図られるとともに、災害時における地域の支援体制が整うことにより、市全体の災害対応力の向上が図られる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・校区単位の自主防災組織設立時に、10万円を限度として、防災資機材等の購入に要する費用を補助(2団体に補助) ・地域での自主防災活動において必要とする防災資機材等を7万円の範囲内で支給(143団体に支給) ・市民局、道路下水道局、区役所、消防署と連携した土のうの配備や防災訓練の支援の実施 ・出前講座の実施 ・「市民防災の日」イベントの実施(年1回)

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		11,217
歳入	特定財源	0
	一般財源	11,217
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	11,119	10,715
歳入	特定財源	1
	一般財源	11,118

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																														
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活動支援 ・防災講演会の開催 ・自主防災組織の活動資機材補助 ・防災訓練や出前講座の実施 ・「市民防災の日」イベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災リーダー相互に情報共有がなされる。 ・自主防災組織が防災活動を実施しやすい体制が整う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が訓練等を実施し、防災知識や能力が向上し、適切な災害時の対応ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の被害を最小限に抑えることができる。 																																														
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">67</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">134%</td> <td style="text-align: center;">300%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	50	50		H32年度	実績	67	150	50		達成率	134%	300%		50	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">350</td> <td style="text-align: center;">350</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">409</td> <td></td> <td style="text-align: center;">416</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">116.9%</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">450</td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	350	350		H32年度	実績	409		416		達成率	116.9%		
年度	実績			目標																																														
	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																														
目標	50	50		H32年度																																														
実績	67	150	50																																															
達成率	134%	300%		50																																														
年度	実績		目標																																															
	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																														
目標	350	350		H32年度																																														
実績	409		416																																															
達成率	116.9%			450																																														

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	地域防災力の向上（一部：災害時要援護者の避難支援対策）	
所管課	市民局防災・危機管理課	背景
開始年度	平成25年度	
根拠法令	災害対策基本法	
行政計画		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
災害時に自力で避難することが困難な方の支援のため保健福祉局において、「災害時要援護者台帳」を平成13年から実施してきたが、平成25年度の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿の作成が市町村に義務付けられたことに伴い市民局にて事業開始。		

基本計画			
施策コード	主	3-1-2	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	災害に強いまちづくり		
事業群	地域防災力の強化		
施策成果指標		災害時要援護者情報が活用されている地域の割合 H28年度 80% H34年度 100%	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 避難行動要支援者 避難支援等関係者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 災害時に自ら避難することが困難である避難行動要支援者を対象に名簿を作成し、避難支援等関係者（自治協議会、民生委員、社会福祉協議会）等に名簿を提供することで、平常時の見守り活動や要支援者一人ひとりの避難支援計画（個別計画）作成などの支援を行い、災害時の安否確認、避難支援、情報伝達など地域で支える仕組みづくりにつなげる。

実施内容（手段）	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①避難行動要支援者名簿作成システムの開発 ②制度について、自治協議会、社会福祉協議会及び民生委員・児童委員協議会等関係者への説明を実施及び関係団体等への周知・協力依頼 ③市政だより、HPIにて広報・周知 ④避難行動要支援者名簿を作成 ⑤避難支援等関係者向けハンドブック作成
-----------------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		27,606
歳入	特定財源	11
	一般財源	27,595
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計	0	9,000
歳入	特定財源	2
	一般財源	0 8,998

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者へのDM送付、情報提供同意確認 ・対象者からの問い合わせ対応 ・関係者への制度周知 ・地域への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が避難行動要支援者名簿に登録され、名簿提供同意者の情報は、地域に提供される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名簿を活用し、地域での見守り活動や個別計画の策定が進む。 ・災害時の安否確認や避難支援の体制が整う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人的被害の減少 																																																																																			
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ダイレクトメール送付件数</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>40,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">6,000</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>42,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>105%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	ダイレクトメール送付件数	目標	0	40,000	6,000	H32年度	実績	0	42,000	6,000	達成率		105%			目標				H 年度		実績						達成率					成果の指標（KPI）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">同意確認回答率</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>60.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">61</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>55.4</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>92.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	同意確認回答率	目標	-	60.0	61	H32年度	実績	-	55.4	64	達成率		92.3%			目標				H 年度		実績						達成率			
指標の内容	年度	実績			目標																																																																																		
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
ダイレクトメール送付件数	目標	0	40,000	6,000	H32年度																																																																																		
	実績	0	42,000		6,000																																																																																		
	達成率		105%																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																			
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
同意確認回答率	目標	-	60.0	61	H32年度																																																																																		
	実績	-	55.4		64																																																																																		
	達成率		92.3%																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	中学生の防災力アップ事業		
所管課	市民局防災・危機管理課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
開始年度	H28	背景	H28年度新規事業(強化施策)。地域活動への参加者の減少、住民同士のつながりの希薄化などで、防災活動の担い手が不足。また、東区の青葉校区で自治協議会と中学校の合同による防災訓練が実施されたことや東日本大震災で中学生が防災活動に活躍した事例などを踏まえ、地域防災の将来の担い手づくりの観点から、中学生の防災意識の向上を図る事業を開始。
根拠法令			
行政計画			

基本計画				
施策コード	主	3-1-2		施策成果指標 地域の防災対策への評価 H28年度 35% H34年度 50%
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	災害に強いまちづくり			
事業群	地域防災力の強化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	中学生
	対象をどのような状態にしたいのか	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の防災意識が向上する。 中学生が将来の地域防災の担い手となる。 中学生の防災活動への参加を通じて、保護者や地域全体の防災力が向上する。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> 5校に防災講演会を実施 中学生の意見を反映した防災ノートを作成。
----------	--------------------------------	---

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		5,554	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	5,554	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
	歳出合計	-	1,316
歳入	特定財源	-	0
	一般財源		1,316

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) <ul style="list-style-type: none"> 中学生に対する防災講演会の実施 防災ノートの作成 	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) <ul style="list-style-type: none"> 防災ノートの活用等により中学生が災害への備えを学ぶ。 	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) <ul style="list-style-type: none"> 中学生の防災意識が向上する。 中学生の地域防災活動への参加 将来的な地域防災の担い手の増加 	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) <ul style="list-style-type: none"> 保護者や学校、自治会町内会活動などへ波及し、市全体の防災意識・知識が向上する。 自助や共助の担い手増加により、災害時の被害を最小限に抑えることができる。 		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		講演会(研修会)の開催回数	目標	-	7	7
		実績	-	5		
		達成率		71.4%		
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	事業実施後に災害について家族と話し合った中学生の割合	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	-	40.0	40	H32年度
		実績		34.7		
達成率			86.8%		40	
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	自転車安全利用推進事業	
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景 自転車は、幅広い年齢層において、買物、通勤・通学、レジャーなど、多様な用途で利用され、環境負荷の軽減、交通渋滞緩和や健康増進等の観点からも、今後、ますますその利用が促進されることが予測されているが、近年、自転車利用者の交通ルール・マナー違反等により、自転車に関連する事故が多発し、重大事故に陥る可能性の高い歩行者を巻き込んだ事故件数は増加傾向にあり、安全利用の啓発が重要となっている。
開始年度	平成22年度	
根拠法令	福岡市自転車の安全利用に関する条例	
行政計画	政策推進プラン	

基本計画		
施策コード	主 再	3-4-1
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
施策	ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり	
事業群	安全で適正な自転車利用	
施策成果指標	第10次福岡市交通安全計画(H28~32年度) 平成32年度までに自転車事故発生件数2,100件以下	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	自転車を利用する市民等
	対象をどのような状態にしたいのか	自転車に関連する事故の防止を図り、本市における交通安全の確保を図る
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車安全利用に関する出前講座の開催 ○自転車安全利用推進員の啓発活動への支援 ○モラル・マナー推進員による天神地区を中心とした自転車安全利用の街頭指導・啓発 ○スケアード・ストレイト教育技法による体験型自転車教室の開催(高等学校グラウンド等) ○エリアマネジメント団体を通じた都心部への自転車通勤者に対する出前講座開催の働きかけ ○毎月8日の自転車安全利用の日における自転車安全利用キャンペーンの実施 ○アビスパ福岡公式試合における自転車安全利用の広報啓発

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		7,790
歳入	特定財源	670
	一般財源	7,120
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計		10,986 12,305
歳入	特定財源	723 700
	一般財源	10,263 11,605

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座(自転車安全利用) ・自転車安全利用推進員講習会の開催 ・自転車安全利用推進員連絡会の開催 ・自転車安全利用指導員による指導・啓発 ・自転車安全利用推進員の活動支援 ・体験型自転車教室の開催 ・自転車通勤者に対する出前講座開催の働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車教室、出前講座を受講した人が増える。 ・自転車安全利用の理解が進む。 ・自転車安全利用推進員が増える。 	自転車利用者のマナーが向上する。	自転車利用者の交通ルール・マナー違反等による歩道上で歩行者を巻き込んだ自転車事故が減少する。																			
	活動の指標	指標の内容	実績	目標																			
		自転車安全利用推進員講習会の受講者数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>300</td> <td>300</td> <td></td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>117</td> <td>109</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>39.0%</td> <td>36.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	300	300		H32年度	実績	117	109	300	300	達成率	39.0%	36.3%		
年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																			
目標	300	300		H32年度																			
実績	117	109	300	300																			
達成率	39.0%	36.3%																					
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標																				
	自転車安全利用推進員の在籍校区数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>90</td> <td>90</td> <td></td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>63</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>70.0%</td> <td>66.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	90	90		H32年度	実績	63	60	90	143	達成率	70.0%	66.7%			
年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																			
目標	90	90		H32年度																			
実績	63	60	90	143																			
達成率	70.0%	66.7%																					
	自転車事故発生件数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2,750</td> <td>2,600</td> <td></td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2,582</td> <td>2,246</td> <td>2,200</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>106.5%</td> <td>115.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	2,750	2,600		H32年度	実績	2,582	2,246	2,200	2,100	達成率	106.5%	115.8%			
年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																			
目標	2,750	2,600		H32年度																			
実績	2,582	2,246	2,200	2,100																			
達成率	106.5%	115.8%																					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	モラル・マナー向上市民啓発事業	
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景
開始年度	平成19年度	
根拠法令	人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例	
行政計画	政策推進プラン	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か ボランティア団体、事業者、エリアマネジメント団体、行政等が一体となり、モラル・マナーに関する施策を広く周知し、多くの者が参加できるような取り組みを実施するため。(昭和63年度「見つめて福岡モラル・マナー向上市民運動本部」、平成19年度「ふくおか安全安心よかまち運動」、平成24年度「モラル・マナー向上市民運動」)

基本計画			
施策コード	主	3-4-2	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり		
事業群	モラル・マナーの向上		
		施策成果指標	市民のマナーに対する満足度(平成28年度目標:45%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内に居住、滞在または福岡市内を通過する人
	対象をどのような状態にしたいのか 誰もがルールやマナーを遵守し、それに対し高い満足度が得られる状態の実現を図る。
事業目的	

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例の広報啓発
	○モラル・マナー向上推進本部の設置及び運営
	○市民、ボランティア団体、事業者等と連携し、各局が行う、モラル・マナー向上のための様々なキャンペーンやイベントを「モラル・マナー向上市民運動」(10月1日)として展開する。
	○モラル・マナー推進員による歩行喫煙防止等の巡回指導、啓発
○地域や商店会、事業者団体等との共働による歩行喫煙防止広報・啓発活動	
○4か国語ラジオ放送によるモラル・マナー向上の広報啓発	

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		88,512	
歳入	特定財源	3,849	
	一般財源	84,663	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		105,299	69,123
歳入	特定財源	4,488	4,020
	一般財源	100,811	65,103

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																													
	・モラル・マナー推進員による自転車安全利用、歩行喫煙防止等の指導・啓発の実施 ・モラル・マナー向上に関する広報啓発の実施 ・モラル・マナー向上キャンペーンの実施	・自転車走行マナーの向上 ・歩行喫煙率の低下	市民がモラル・マナー向上のための主体的行動の実施	市民のマナーに対する満足度が向上																																																																													
	→	→	→	→																																																																													
	活動の指標	成果の指標(KPI)	指標の内容	指標の内容																																																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">路上禁煙地区内の歩行喫煙者指導件数</td> <td>目標</td> <td>13,500</td> <td>13,000</td> <td rowspan="3">8,000</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>29,283</td> <td>15,932</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>46.1%</td> <td>81.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	路上禁煙地区内の歩行喫煙者指導件数	目標	13,500	13,000	8,000	H32年度	実績	29,283	15,932	8,000	達成率	46.1%	81.6%			目標				H年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市民のマナーに対する満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>39.0%</td> <td>45.0%</td> <td rowspan="3">47.5%</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>41.2%</td> <td>44.5%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>105.6%</td> <td>98.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	市民のマナーに対する満足度(%)	目標	39.0%	45.0%	47.5%	H34年度	実績	41.2%	44.5%	60%	達成率	105.6%	98.9%			目標				H年度	実績					達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
路上禁煙地区内の歩行喫煙者指導件数	目標	13,500	13,000	8,000	H32年度																																																																												
	実績	29,283	15,932		8,000																																																																												
	達成率	46.1%	81.6%																																																																														
	目標				H年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
市民のマナーに対する満足度(%)	目標	39.0%	45.0%	47.5%	H34年度																																																																												
	実績	41.2%	44.5%		60%																																																																												
	達成率	105.6%	98.9%																																																																														
	目標				H年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進事業		
所管課	市民局生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成17年度		平成18年2月に、地域、事業者、警察、関係機関・団体及び市で構成する「福岡市犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進本部」を設置。関係者連携のもと、防犯施策を総合的かつ効果的に推進することとした。
根拠法令	福岡市犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進条例		
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン		

基本計画			
施策コード	主	3-5-1	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化		
施策成果指標	○犯罪の少なさに対する満足度(H28: 35%)		
	○刑法犯認知件数(H28: 21,000件以下)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市及び関係機関・団体等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	関係者連携のもと防犯施策を総合的かつ効果的に推進している状態

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進本部の運営 ・県警察との連絡会議の開催 ・中洲地区安全安心まちづくり協議会総会の開催 ・犯罪被害者支援対策(福岡犯罪被害者総合サポートセンターにおける相談支援)

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	2,945
歳入	特定財源	1
	一般財源	2,944
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	2,428 2,534
歳入	特定財源	1 1
	一般財源	2,427 2,533

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進本部の運営等 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の情報共有及び連携強化が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の連携協力のもと、防犯の取組みが推進される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が減少するなど市民の安全が確保され、安心感が向上する。 	
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)
		年度	H27年度 H28年度 H29年度 最終年度		
	推進本部会議(総会及び幹事会)の開催	目標	1 2	1	H 年度
		実績	1 1		H 年度
		達成率	100% 50%		H 年度
		目標			H 年度
		実績			H 年度
		達成率			H 年度
		年度	H27年度 H28年度 H29年度 最終年度		
	犯罪の少なさに対する満足度	目標	34.0% 35.0%	40	H 年度
		実績	34.4% 37.2%		H 年度
		達成率	101.2% 106.3%		H 年度
	刑法犯認知件数	目標	22,000 21,000	18,813	H 年度
		実績	20,033 18,813		H 年度
		達成率	109.8% 111.6%		H 年度

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域防犯力強化事業		
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成18年度		パトロール活動などの支援を行うことにより、地域の防犯力強化を推進するため。
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン		

基本計画				
施策コード	主	3-5-1		施策成果指標 ○犯罪の少なさに対する満足度(H28: 35%) ○刑法犯認知件数(H28: 21,000件以下)
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり			
事業群	市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地域, 市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	安全で安心して暮らせるまち

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○パトカー走って安全っ隊事業(平成18年度開始) 使用期間の満了した庁用軽自動車を要望のある校区自治協議会等へ車検整備後、無償で譲渡する。(平成28年度譲渡台数:8台)
	○地域防犯パトロールカー支援事業(平成22年度開始) 地域防犯パトロールに使用されている車両で、白黒塗装かつ青色回転灯装備車について、車検代関連費用(上限10万円)を補助する。(平成28年度補助台数:33台)
	○地域防犯パトロールカーガソリン代助成制度(平成26年度開始) 地域防犯パトロールに使用されている青色回転灯を装備した車両について、新規運用開始月から2年間のガソリン代を年間3万円を上限として助成する。
	○生活安全専門員による各種防犯施策の実施(平成24年度開始)
	○落書き消し活動の支援(平成27年度開始)
	○「新大学生防犯強化月間(4~5月)」(平成27年度開始)及び「福岡市防犯強化月間(8月)」(平成28年度開始)を通じた取組みの推進

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		26,434
歳入	特定財源	1,994
	一般財源	24,440
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27
	H29	
歳出合計	30,481	26,976
歳入	特定財源	2,644
	一般財源	2,284
	27,837	24,692

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 庁用車の譲渡・車検代関連費用の補助金制度・ガソリン代助成制度等について、区役所を通じて地域へ周知するとともに、「福岡市防犯強化月間」を通じて、市民が防犯活動に参加するきっかけづくりを推進する。	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ・地域防犯パトロール車両の増加 ・「福岡市防犯強化月間」に地域の实情に応じて防犯活動が行われる。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) 市内に地域防犯パトロールカーが多数運行するなど地域の防犯意識が向上するとともに犯罪の抑止効果が高まる。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) 犯罪発生件数が減少するなど、市民の安全が確保され安心感が向上する。	
	活動の指標	指標の内容 全校区でのパトロールカー導入	実績 H27年度: 149 H28年度: 149	目標 H29年度: 149 最終年度: H年度	
		目標 実績 達成率	149 100 67.1%	149 99 66.4%	
		目標 実績 達成率			H年度 H年度
		指標の内容 犯罪の少なさに対する満足度	実績 H27年度: 34.0% H28年度: 35.0%	目標 H29年度: 40% 最終年度: H年度	
		目標 実績 達成率	34.0% 34.4% 101.2%	35.0% 37.2% 106.3%	40% H年度
		目標 実績 達成率	22,000 20,033 109.8%	21,000 18,813 111.6%	18,813 H年度
		指標の内容 刑法犯認知件数	実績 H27年度: 22,000 H28年度: 21,000	目標 H29年度: 18,813 最終年度: H年度	
		目標 実績 達成率	22,000 20,033 109.8%	21,000 18,813 111.6%	18,813 H年度

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	子ども・女性安全対策事業		
所管課	市民局生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		福岡市内における、性犯罪(強制わいせつ・強姦)の認知件数は、政令指定都市のなかでファースト上位で推移している。
根拠法令	福岡市犯罪のない安全で住みよいまちづくり推進条例		
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン		

基本計画			
施策コード	主	3-5-1	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化		
施策成果指標	○犯罪の少なさに対する満足度(H28: 35%) ○刑法犯認知件数(H28: 21,000件以下)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	子ども・女性
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	性犯罪は「魂の殺人」と言われるほど深刻な被害を女性に及ぼすため被害防止に積極的に取り組む必要がある。また、子どもに危害を与える犯罪や不審な人物からの声かけや付きまとい事案から、子どもを守る。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○子ども・女性の犯罪被害防止に関する出前講座の実施 ○福岡市営地下鉄における構内アナウンスの実施 ○大学生等に対する啓発メールの配信等 ○性犯罪被害防止キャンペーンの実施 ○安全安心少年隊(7団体)に対する活動支援の実施 ○性暴力被害者支援センターふくおかにおける相談支援

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	3,107
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,107
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	4,459 3,818
歳入	特定財源	
	一般財源	4,459 3,818

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																													
	・啓発活動の推進	・性犯罪防止教育受講者が増加する。 ・安全教育を受けた子どもが増える。	・女性や子どもの防犯意識が向上する。	・性犯罪被害者が減少する。 ・子どもの犯罪被害が減少する。																																																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">性犯罪防止出前講座受講者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">2,700</td> <td style="text-align: center;">4,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">3,400</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">3,095</td> <td style="text-align: center;">2,643</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">114.6%</td> <td style="text-align: center;">66.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	性犯罪防止出前講座受講者数	目標	2,700	4,000	3,400	H年度	実績	3,095	2,643		達成率	114.6%	66.1%			目標				H年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">性犯罪認知件数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">140</td> <td style="text-align: center;">140</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">140</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">217</td> <td style="text-align: center;">160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">64.5%</td> <td style="text-align: center;">87.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">刑法犯認知件数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">22,000</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">18,813</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">20,033</td> <td style="text-align: center;">18,813</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">109.8%</td> <td style="text-align: center;">111.6%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	性犯罪認知件数	目標	140	140	140	H年度	実績	217	160		達成率	64.5%	87.5%		刑法犯認知件数	目標	22,000	21,000	18,813	H年度	実績	20,033	18,813		達成率	109.8%	111.6%
指標の内容	年度			実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
性犯罪防止出前講座受講者数	目標	2,700	4,000	3,400	H年度																																																																												
	実績	3,095	2,643																																																																														
	達成率	114.6%	66.1%																																																																														
	目標				H年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																												
性犯罪認知件数	目標	140	140	140	H年度																																																																												
	実績	217	160																																																																														
	達成率	64.5%	87.5%																																																																														
刑法犯認知件数	目標	22,000	21,000	18,813	H年度																																																																												
	実績	20,033	18,813																																																																														
	達成率	109.8%	111.6%																																																																														

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	街頭防犯カメラ設置補助事業		
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		平成23年の人口千人当たりの認知件数が政令指定都市でワースト3位。特に街頭で発生しているオートバイ盗、自転車盗、強制わいせつなどの犯罪が上位を占めている。
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市防犯のまちづくり推進プラン		

基本計画			
施策コード	主	3-5-2	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	犯罪が発生しにくい環境づくり		
施策成果指標	犯罪の少なさに対する満足度(H28:35%) 刑法犯認知件数(H28:21,000件以下)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	自治協議会及び自治会・町内会等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	それぞれの地域において、街頭防犯カメラが設置されるなど犯罪の起きにくい環境づくりが実現している状態

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	自治協議会、自治会・町内会等が防犯カメラを設置する際の、防犯カメラの機器購入費及び設置工事費等の75%以内を補助(1台につき30万円を上限)

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		60,096
歳入	特定財源	0
	一般財源	60,096
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	26,221	36,127
歳入	特定財源	
	一般財源	26,221
		36,127

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・街頭防犯カメラの購入・設置等に係る費用を一部助成する。	・自治協議会及び自治会・町内会等による街頭防犯カメラの設置が普及促進される。	・各地域の必要に応じて街頭防犯カメラが設置され、犯罪の起きにくい環境が実現される。	・犯罪が減少するなど市民の安全が確保され、安心感が向上する。	
	活動の指標	成果の指標(KPI)			
	指標の内容	指標の内容			
	年度	年度			
	実績	実績			
	目標	目標			
H27年度	H27年度	H27年度	H27年度	H27年度	
H28年度	H28年度	H28年度	H28年度	H28年度	
H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	
最終年度	最終年度	最終年度	最終年度	最終年度	
H年度	H年度	H年度			
H年度	H年度	H年度			
H年度	H年度	H年度			
H年度	H年度	H年度			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	暴力団事務所撤去運動支援事業		
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	昭和40年度		近年、暴力団追放の気運が高まり、暴力団排除活動の推進及び暴力団事務所撤去の早期実現を図るため。(福岡県において平成25年6月に、市町村が実施する暴力団事務所撤去運動への支援事業に関する補助制度が創設。)
根拠法令	福岡市暴力団排除条例		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	3-5-3	
	再		
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり		
事業群	暴力団排除対策の推進		
		施策成果指標	・犯罪の少なさに対する満足度(平成28年度目標:35%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地域等による暴力団事務所撤去運動
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	暴力団排除活動を推進する地域、団体への経済的支援

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	補助申請の実績なし(※26年度新規事業)

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	0
歳入	特定財源	
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	30 1,000
歳入	特定財源	500
	一般財源	30 500

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	・暴力団事務所撤去活動の支援。	・暴力団排除活動の推進及び暴力団事務所撤去の早期実現が図られる。	・暴力団が、社会経済活動の場から排除される。 ・行政、地域が一体となって暴力団排除に取り組む体制が構築される。	・暴力団事務所がなくなり、犯罪発生件数が減少するなど、安全で住みよいまちづくりが実現する。
	活動の指標	指標の内容	実績	目標
		年度	年度	最終年度
		H27年度	H28年度	H29年度
暴力事務所撤去件数	目標	1	1	1
	実績	0	0	1
	達成率	0%	0%	
	H年度			
犯罪の少なさに対する満足度	目標	34.0%	35.0%	40.0%
	実績	34.4%	37.2%	40.0%
	達成率	101.2%	106.3%	
	H年度			
刑法犯認知件数	目標	22,000	21,000	18,813
	実績	20,033	18,813	18,813
	達成率	109.8%	111.6%	
	H年度			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	飲酒運転撲滅対策事業		
所管課	市民局生活安全部生活安全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		飲酒運転の撲滅を本市の特に重要な施策として
根拠法令	なし		位置づけ、関係機関・団体と連携し、飲酒運転の
行政計画	なし		撲滅(ゼロ)に向けた広報啓発活動をより積極的に推進するため

基本計画				
施策コード	主	3-5-4		施策成果指標
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	犯罪のない安全で住みよいまちづくり			
事業群	飲酒運転撲滅への取組み			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地域、学校、企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	地域や事業者が行う飲酒運転撲滅の取り組みを促進するとともに、積極的な広報啓発を行うことにより飲酒運転撲滅の気運を一層高め、飲酒運転ゼロを目指す

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○「飲酒運転ゼロを誓う市民の集い」等の開催
	○飲酒運転ゼロを誓う「折り鶴プロジェクト」の実施
	○関係機関・団体、地域等と連携した飲酒運転撲滅キャンペーン等の開催
	○「飲酒運転撲滅宣言の店」や飲酒運転撲滅ポスター掲示協力店の拡大
	○各種広報媒体を活用した広報啓発の実施
	○県や交通安全協会をはじめ、各関係機関との連携を強化
○願いのメッセージはがきプロジェクト	

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	2,939
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,939
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	2,715 2,664
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	2,715 2,664

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転撲滅大会等の開催 ・関係機関・団体、地域等と連携した撲滅キャンペーン等の実施 ・「飲酒運転撲滅宣言の店」の拡充、撲滅ポスターの掲示拡大 ・各種広報媒体を活用した広報啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転の撲滅(ゼロ)に賛同する人が増加 ・「飲酒運転撲滅宣言の店」が増加、撲滅ポスターの掲示拡大 	飲酒運転は、犯罪であることが社会的に認識される。	飲酒運転がなくなる		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
			H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		交通安全教室等の受講者数	85,000	110,000	120,000	H32年度
		目標				
		0	0	0	H32年度	
		実績	53	46	0	
		達成率			0	
		119.8%	90.9%			
		目標			H年度	
		H年度				
		実績				
		達成率				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	ラグビーワールドカップ2019招致関連事業	
所管課	市民局スポーツ推進部 国際スポーツ大会担当	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 「国際スポーツ都市宣言」に基づき、スポーツを通じたまちづくりを進めており、ラグビーワールドカップ2019の開催及びキャンプ招致により、市民スポーツの振興推進や本市の国際知名度の向上を図る。
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			施策成果指標 ○福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合(H28: 72.5%以上)
施策コード	主	5-5-1	
分野別目標	再		
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興		
事業群	国際スポーツ大会等の開催地・合宿地としての誘致・支援		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市民、観戦客
	対象をどのような状態にしたいのか	ラグビーワールドカップ2019の開催及びキャンプ招致を行うことで、市民が一流のスポーツに触れ、交流できる機会が増えるなど、市民スポーツの振興が推進されるとともに、多くの観光客が福岡を訪れる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	会場となるレベルファイブスタジアムの改修を進めるとともに、大会開催に向けた準備や気運醸成を実施した。また、キャンプ招致については、事前キャンプ招致に集中することに決定した。
	(1)開催準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組織委員会や開催都市間との協議・調整等 ○ 施設改修計画の検討・策定
	(2)気運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、商工会議所、県ラグビー協会との協議・調整等 ○ 各種イベントの開催(スポーツフェスタ等) ○ 各種イベントにおけるブース等の出展等(ガンクフェスタ、ねんりんピック等) ○ 九州開催都市(熊本・大分)と連携したトップリーグでのPR活動
	(3)キャンプ招致	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報収集、人脈構築等

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	99,855		
歳入	特定財源		
	一般財源	99,855	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	51,692	522,763	
歳入	特定財源	81,243	
	一般財源	51,692	441,520

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・大会の気運醸成活動 ・試合会場の改修 ・事前キャンプ招致活動	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・大会への盛り上がりが高まる。 ・スタジアムの設備が更新され、観戦環境が向上する。 ・福岡で事前キャンプが行われる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市民がトップレベルの競技を間近に見る機会や、選手と交流する機会が増える。 ・大会等の参加者やそれを目的とした観光客が福岡を訪れ、「福岡」を認識するとともに消費活動を行う。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・市民スポーツの振興が推進され、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。 ・「国際スポーツ都市」としての都市ブランド力が向上される。 ・本市を訪れる観光客等が増え、経済効果がもたらされる。																																																																																
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種イベントの開催及びPR活動</td> <td>目標</td> <td>6</td> <td>12</td> <td rowspan="3">15</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>8</td> <td>17</td> <td rowspan="2">15</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>133.3%</td> <td>141.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	各種イベントの開催及びPR活動	目標	6	12	15	H31年度	実績	8	17	15	達成率	133.3%	141.7%		目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">スポーツ観戦の機会への評価</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>増加</td> <td rowspan="3">増加</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>78.5%</td> <td>76.2%</td> <td rowspan="2">83.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	スポーツ観戦の機会への評価	目標	-	増加	増加	H34年度	実績	78.5%	76.2%	83.0%	達成率				目標				H 年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																													
		H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																														
	各種イベントの開催及びPR活動	目標	6	12	15	H31年度																																																																														
実績		8	17	15																																																																																
達成率		133.3%	141.7%																																																																																	
	目標				H 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
スポーツ観戦の機会への評価	目標	-	増加	増加	H34年度																																																																															
	実績	78.5%	76.2%		83.0%																																																																															
	達成率																																																																																			
	目標				H 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	スポーツコミッション事業	
所管課	市民局スポーツ推進部スポーツ事業課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 「国際スポーツ都市宣言」に基づき、スポーツを通じたまちづくりを進めており、これまでの国際スポーツ大会で培われたハード・ソフト・ホスピタリティなどを有効活用し、国際スポーツ大会等を招致、開催することにより、さらなる市民スポーツの振興推進や、本市の国際的知名度の向上を図る。
開始年度	平成19年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	5-5-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興		
事業群	国際スポーツ大会等の開催地・合宿地としての誘致・支援		
施策成果指標	○福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合(H28: 72.5%以上)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・国内外のスポーツ関係団体等 ・市民
	対象をどのような状態にしたいのか 国際スポーツ大会等開催地、事前合宿地の招致・支援を行うことにより、市民が一流のスポーツに触れ、交流できる機会が増えるなど、市民スポーツの振興が推進されるとともに、本市の知名度向上や参加者・観光客増加による経済波及効果ももたらされる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で行ったのか 1 東京オリパラ関係 ノルウェーオリンピック委員会の事前合宿受け入れに係る基本合意書の締結 調印式:平成28年10月10日(月・祝) 場所:ヒルトン福岡シーホークホテル 期間:平成32年7月12日~31日 人数:選手50~60名, コーチ50~60名 2 ルイ・ヴィトン・アメリカズカップ・ワールドシリーズ福岡大会(アジア初開催) 日程:平成29年11月18日(金)~20日(日) 場所:福岡市中央区地行浜沖 人数:約14,000人(2日間合計)※18日は練習レース開催日のため、非公開 3 V・プレミアリーグ女子 ファイナル6 福岡大会 国内最高峰のバレーボールリーグに所属する8チーム中、上位6チームが頂点を目指すファイナルステージの第1弾。 日程:平成29年2月18日(土)、19日(日) 福岡市民体育館
----------	---

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	19,226		
歳入	特定財源		
	一般財源	19,226	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	10,438	2,300
	特定財源		
	一般財源	10,438	2,300

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)		③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)					
	<ul style="list-style-type: none"> 新規国際スポーツ大会や全国レベルの大会の招致、開催支援を行う。 国際スポーツ大会等の事前合宿地としての招致、支援を行う。 JOCパートナー都市協定に関する事業を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 国際スポーツ大会や全国レベルの大会が開催される。 近隣地域で国際スポーツ大会等が開催される際に、事前合宿地として利用される。 大会開催や合宿地の受け入れにあたっては、市民との交流事業等が実施される。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民がトップレベルの競技を間近に見る機会や、選手と交流する機会が増える。 大会等の参加者やそれを目的とした観光客が福岡を訪れ、「福岡」を認識するとともに消費活動を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツの振興が推進され、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。 「国際スポーツ都市」としての都市ブランド力が向上される。 本市を訪れる観光客等が増え、経済効果ももたらされる。 					
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標	
			年度	H27年度	H28年度	H29年度			最終年度	年度	H27年度	H28年度
		目標					スポーツ観戦の機会への評価	目標				H34年度
		実績						実績	78.5%	76.2%	増加	83%
		達成率						達成率				
		目標						目標				H年度
		実績					実績					
		達成率					達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	アビスパ福岡支援		
所管課	市民局スポーツ推進部スポーツ事業課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成7年度		アビスパ福岡が広く市民、地域に支えられる市民球団として自立し、定着できるように支援する。サッカーを通じた豊かなスポーツ文化の振興と青少年の育成を図ることにより、市民スポーツの振興を推進する。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	5-5-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興		
事業群	プロスポーツの振興		
施策成果指標	・福岡市を活動拠点とするプロスポーツチームなどの主催試合観客数(H28: 336,000人) ・福岡市はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思える市民の割合(H28: 72.5%以上)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・市民 ・アビスパ福岡
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか ・市民が、試合観戦やアビスパ福岡のホームタウン活動を通して、一流のスポーツに触れ、交流できる機会が増える。 ・多くの市民や企業、団体が、アビスパ福岡を誇りに思い、積極的に支援することで、アビスパ福岡の経営基盤が安定し、自立が図られる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①観戦招待事業(小中高生とその保護者をホームゲームに招待) ②少年少女サッカー教室(幼児、小中学生の団体を対象としたコーチによるサッカー指導) ③親子サッカー教室(小学生とその保護者を対象とした選手・コーチによる教室) ④心の教育プロジェクト(市内小学校での選手・コーチによる特別授業) ⑤アビスパ健康教室(およそ60歳以上を対象とした運動啓発教室) ⑥スポーツ大会等広告看板掲出(ホームゲーム時に掲出) ⑦ブラインドサッカー教室(小学生以上を対象としたコーチおよびブラインドサッカー選手による体験教室) ⑧乳幼児ふれあい教室(乳幼児とその保護者を対象としたコーチによる教室)
----------	---

これは、市と経済界とが協

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	85,916
歳入	特定財源	425
	一般財源	85,491
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	85,251 85,783
歳入	特定財源	425 424
	一般財源	84,826 85,359

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・観戦招待事業、少年少女サッカー教室、親子サッカー教室、心の教育プロジェクト、アビスパ健康教室、スポーツ大会等広告看板掲出、ブラインドサッカー教室の実施 ・アビスパ福岡の周知・広報	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・市民のアビスパ福岡への関心が高まる ・市民がアビスパ福岡の試合を見に行く ・市民のスポーツへの関心が高まる ・青少年の健全育成が図られる	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市民がファン、サポーターとなる ・アビスパ福岡の試合観客数が増加する ・アビスパ福岡の経営基盤が安定する	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・アビスパ福岡が市民の財産となる。 ・アビスパ福岡の活躍により、市の知名度、集客力が向上する。	
	活動の指標	実績	目標	実績	目標
	指標の内容	年度	H27年度	H28年度	H29年度
活動の指標	スポーツ観戦の機会への評価	目標			H 年度
		実績			
		達成率			
		目標			H 年度
	実績				
	達成率				
成果の指標(KPI)	スポーツ観戦の機会への評価	目標			H34年度
		実績	78.5%	76.2%	増加
		達成率			83%
		目標			H34年度
成果の指標(KPI)	プロスポーツチームなどの主催試合観客数	実績	312千人	360千人	増加
		達成率			390千人
		目標			H34年度
		実績			390千人

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	女性活躍推進事業	
所管課	女性活躍推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 男女がそれぞれ自己の希望を実現し、豊かな人生をおくることができるようにするとともに、社会の担い手の確保並びに多様な人材の活用及び登用により我が国の経済社会の持続的な発展を図るためには、女性がその有する能力を最大限に発揮できるようにすることが重要。そのためあらゆる段階の女性のスキルアップを支援し、同時に受け入れ側である企業のワークライフバランスへの取り組みを支援する。
開始年度	平成27年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	7-5-2	
	再	1-2-2	6-5-1
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり		
事業群	女性の活躍の場づくり		
施策成果指標	・企業における女性管理職比率		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業(経営者・人事労務担当者・社員) ・再就職を目指す女性
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定や「見える化サイト」登録で、企業の女性活躍が推進される。 ・女性社員の能力が向上し、リーダーが増える。 ・就業を希望する女性が再就職する。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○一般事業主行動計画策定セミナー&相談会の実施(300人以下の企業対象)
	○「ふくおか女性課活躍NEXT企業 見える化サイト」の創設
	○社会貢献優良企業の優遇措置(女性活躍の要素を追加、見える化の実施)
	○女性リーダー育成研修の実施
	※「女性の活躍推進福岡県会議」と連携し、自主宣言登録企業が女性社員を派遣する場合、県会議が受講料補助。
○女性の就職支援セミナー	シティハローワークみなみとの共同主催
○お仕事再開応援フェスタ	
○お仕事再開プチサロン	
○資格・技術習得のための各種講座等の実施	

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	8,202		
歳入	特定財源	751	
	一般財源	7,451	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	5,432	8,093
	特定財源	1,011	3,451
	一般財源	4,421	4,642

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けの計画策定支援セミナー&相談会を実施 ・企業における女性活躍への取組の「見える化」を推進するため「見える化サイト」掲載企業を募集 ・女性リーダー育成のためのセミナーを実施 ・再就職を希望する女性向け実践セミナー等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の人事労務担当者が、計画策定のノウハウを身に付けるとともに女性活躍の取組を「見える化」することのメリットを理解する。 ・女性リーダー育成のためのセミナー受講生が、働く上での知識を身につける。 ・再就職に必要な知識等を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定する。 ・「見える化サイト」へ登録する。 ・女性社員の能力が向上し、リーダーになる。 ・女性が再就職する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における女性活躍への取組が進み、誰もが自己の希望を実現し、豊かな人生をおくることができるようになる。 ・また、女性活躍の推進により、企業の業績が上がり、市の経済が活性化する。 			
	活動の指標	指標の内容	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	「見える化サイト」掲載企業数	目標	-	-	190	H年度	
		実績	-	167	190		
女性リーダー育成研修及び女性の就職支援セミナーの受講者数	目標	-	150	120	H年度		
	実績	-	102	120			
	達成率	-	68.0%				
成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
企業における女性管理職比率 (H26年度実績値10%)	目標	-	-	-	H32年度		
	実績	-	-	-			
	達成率	-	-	-	12%		
	目標	-	-	-	H年度		
	実績	-	-	-			
	達成率	-	-	-			